

第4章 教育活動

4-1 教育活動重点項目への取組みとその結果

(1) 目標資格と取得結果

[全学科共通]

資 格 名	合格者数
日本語ワープロ検定	初段
	0
	1 級
	2
	準1 級
	3
情報処理技能検定（表計算）	2 級
	9
	準2 級
	14
	3 級
	21
情報処理技能検定（表計算）	1 級
	2
	準1 級
	5
	2 級
情報処理技能検定（表計算）	12
	準2 級
	10
情報処理技能検定（表計算）	3 級
	3

[建築系]

資 格 名	合格者数
二級建築士	20
2 級建築施工管理技術検定	10
インテリアコーディネーター	2
リフォームスタイリスト	1 級
	3
リフォームスタイリスト	3 級
	16
リビングスタイリスト	3 級
	14

[機械系]

資 格 名	合格者数
技能検定・機械加工 2 級	普通旋盤作業
	2
技能検定 機械加工 3 級	普通旋盤作業
	10
	数値制御旋盤作業
技能検定 機械・プラント製図 3 級	1
	マシニングセンタ作業
	6
技能検定 機械・プラント製図 3 級	機械製図 CAD 作業
	4

[電気系]

資 格 名	合格者数
電気工事士	第一種
	16
電気工事施工管理技術検定	第二種
	18
電気主任技術者	2 級
	4
電気主任技術者	第三種
	1

[土木系]

資 格 名	合格者数
測量士補	4
土木施工管理技術検定（第一次）	1 級
	8
土木施工管理技術検定（第一次）	2 級
	12
ビオトープ施工管理士	2 級
	7
ビオトープ計画管理士	2 級
	1
無人航空従事者	3 級
	14

基礎技能（ドローン操縦士）		7
応用技能	目視外	7
二等無人航空機操縦士	基本	2

[情報系]

資 格 名		合格者数
情報処理技術者試験	基本情報技術者	9
	情報セキュリティマネジメント	3
情報システム試験（J 検）	基本スキル	13
ビジネス能力認定試験（ジョブパス）	3 級	30
日商簿記検定	3 級	2

[音響・映像系]

資 格 名		合格者数
映像音響処理技術者資格認定試験	初級	10
舞台機構調整技能検定	3 級	5
CGクリエイター検定	ベーシック	11
	エキスパート	1
MIDI 検定	3 級	6

(2) インターンシップの参加状況

学科・系	会 社 名	業 種	人数
電 気 29 人	電力サポート	建 設 業	5
	高野電気商会	建 設 業	2
	八洲電機	建 設 業	3
	一宮工務店	建 設 業	2
	星光電機	建 設 業	1
	日本テクノ	建 設 業	1
	中電工	建 設 業	8
	保安協会	建 設 業	3
	今治造船	建 設 業	2
	旭日電気	建 設 業	1
	東邦工業	電 気 設 備 保 安 業 務	1
情 報 11 人	株式会社アルファシステムズ	シ ス テ ム 開 発	4
	NEXCO 西日本	建 設 ・ 陸 運 ・ そ の 他	1
	三菱重工	製 造 業	1
	本田技研工業(株) 鈴鹿製作所	製 造 業	1
	マツダエース(株)	総 合 サ ー ビ ス	2
	JFE	鉄 鋼 業	2
土 木 19 人	下花建設株式会社	建 設 業	11
	カナツ技研工業	建 設 業	1
	藤川興業所	建 設 業	1
	SMC シビルテクノス	建 設 業	2
	八光建設工業	建 設 業	1
	朝日組	建 設 業	1
	毛利組	建 設 業	1
	松尾設計	設 計 業	1

建 築 26 人	(株)松岡設計	建 設 業	1
	西部建設(株)	建 設 業	1
	(株)池下設計	建 設 業	1
	(株)ティーエス・ハマモト	建 設 業	1
	(株)スペースストライ	建 設 業	1
	(株)Sunsハウジング	建 設 業	1
	(株)プランニングサプライ	建 設 業	1
	ホクエイ設備工業(株)	建 設 業	1
	(株)カドス・コーポレーション	建 設 業	1
	(株)スマイクホーム	建 設 業	1
	(株)みうら	建 設 業	1
	(株)ウイズアート	建 設 業	1
	(株)サンケンフロント	建 設 業	1
	(株)大建	建 設 業	1
	(株)樹創家	建 設 業	1
	積水ハウス建設東京(株)	建 設 業	1
	YKK AP(株)	建 設 業	1
	丸井産業(株)	建 設 業	1
	(有)山尾工務店	建 設 業	1
	(株)中電工	建 設 業	1
	(株)アベックエンジニアリング	建 設 業	1
	(株)縁	建 設 業	1
	(有)MasMas	建 設 業	1
	青山装飾(株)	建 設 業	1
	(株)ディークリエイト	建 設 業	1
	(株)金見工務店	建 設 業	1
音響・映像 メディア 11 人	株式会社 オーアンド・オー	音 響 ・ 照 明	1
	有限会社 中国映像センター	映 像	1
	株式会社 ミックス	音 響	1
	株式会社 フルライトユニオンコーポレーション	照 明	1
	株式会社サウンドオフィスクロスロード	音 響	1
	株式会社 ライフマーケット	映 像	4
	株式会社 スターシャインプロモーション	映 像	1
	株式会社 コネクトライン	音 響 ・ 映 像 ・ 照 明	1
合 計			96

4-2 人間力を高める各種行事の取組み

(1) 令和7年度オリゼミ

1) 概 要

① 目 的

- ・学校生活のルールを徹底する。
- ・学校の学習目的と内容について理解を深める。
- ・学生と教員の交流を行い、コミュニケーションのとれる人間関係をつくる。
- ・学生同士の交流を行い、理解を深め、真の友人をつくる。

② 日 程・場 所：広島工業大学専門学校・広島工業大学沼田校舎

学 科	日 程	開 始	場 所	人数
全 学 科	4月7日(月)	9:00	専門学校	144
建 築 ・ 機 械 ・ 土 木	4月15日(火)	9:00	沼田校舎	71
情報系・電気・音響映像	4月16日(水)	9:00	沼田校舎	73

③ 参加教職員・参加学生数・欠席人数(新入生)

系・学科	参 加 教 職 員	参加学生数	指導学生	欠席人数 (新入生)
	佐藤校長・CSC長 瀧口教頭・ 国際交流センター/学生指導部長 増永	—	—	—
電 気	三田・三宅	22	2	3
機 械	境・藤本	12	2	1
建 築	倉光・野地	36	4	2
音響・映像	角・林・木村	30	4	1
土 木	増永	12	1	3
IT・情報	小笠原	31	2	3

2) 成 果

- ① 入学早期に建学の精神、教育方針の確認を行うことにより、今後の学習意欲の向上につながった。
- ② 学科での特色や目標資格などの詳細を学科別のオリエンテーションで実施することにより、学校生活における目的意識を確認することができた。
- ③ 学生同士のコミュニケーションの構築や友達づくりの場として、去年と同様に二日目に沼田校舎を活用することにより、より効果的となった。

3) 次年度の課題

- ①最終人数(留年・復学も含む)が最後まで変動するので、沼田校舎との連絡を確実に行う。

(2) 令和7年度 体育祭

1) 概 要

- ① 目 的：日頃、勉学や就職活動などで多忙な学生達が思う存分に体を動かし、楽しみ、心身ともにリフレッシュし、学校生活をより充実させることを目的とする。

- ② 日 時：令和7年5月28日(水) 9:20~13:20

③ 場 所：広島県立総合体育館 大アリーナ（広島グリーンアリーナ）

④ 天 候：曇り

⑤ 出席率：85.6%（前回令和6年度 82.6%）

2) 成 果

① 在学生全員が参加するイベントの一つであり、学生にとって集団行動を学ぶ良い機会となった。

② 学友会が積極的に関わることで、学生同士の協調が図られ、クラスが一体となることができ、各競技が盛り上がった。

③ 安全には十分配慮を行い、大きな怪我はなく実施することができた。

3) 課 題

① 学生・教職員が一致団結して進行したが、少しスケジュールが遅れた。しかし、貸し切り時間内には終わることが出来た。

② 競技が毎年変わり、前年の経験を改善に活かすにいが、安全な競技の実施を模索していきたい。

(3) 第21回学習成果プレゼン大会

本大会は、各学科の学生が修得した知識・技術を発表し、社会で求められるプレゼンテーションスキルを習得することを目的としている。同時に、他学科の専門内容を聴講することで視野を広げ、相互理解を深める契機として、第21回学習成果プレゼン大会を以下のとおり開催した。なお、開催にあたっては大会の機運を醸成すべく学生からポスターを募集したほか、保護者をはじめとする関係者への公開として、現地からのライブ配信を実施した。

1) 概要

- ① 内 容 : 各学科の代表者が、9分という限られた発表時間の中で、聴衆を前に力強く学習成果を発表し競い合った。
- ② 日 時 : 令和8年2月12日(木) 13:00～15:40
- ③ 場 所 : アステールプラザ中ホール(オンラインによる同時配信)
- ④ 参加者 : 在校生、学校関係者
- 配信案内 : 学生、保護者、招待者(企業、高校教員・高校生)、学園関係者、教職員
- ⑤ 発表者及び発表テーマ

発 表 者	内 容 (テーマ)
機械工学科	介護者の為の簡易取り付け型全方位置動車椅子
建築学科	空家古民家再生 ～耐震性・用途・地域性の多角的アプローチ～
音響・映像メディア学科	【案件】僕たちが作ったCMがマツダスタジアムで流れました。#PR
I Tスペシャリスト学科	落とし物管理システム
土木工学科	なぎさ公園小学校 既設枕木復旧 ～素足で走ろう花道づくり～
電気工学科	即戦力のための作業安全ハンドブックの作成 ～就職後すぐに役立つ現場安全の基本～
情報学科	ゼロからつくる、私たちの『陽だまり』— はじめてのEC サイト開発、その舞台裏

シンガポール研修旅行報告	シンガポール研修の記録～学びと体験を振り返る～
--------------	-------------------------

2) 審査員

審査委員長	広島県立広島工業高等学校長 河野 幸浩
審査員	学校法人鶴学園 学園アドバイザー 元広島工業大学専門学校校長 坂本 眞平
	広島工業大学専門学校 校長 佐藤 隆吉

3) 審査項目

審査は、以下の項目を評価して行われた。

評価分野	評価項目
1 発表主旨	目的の明確さ
2 テーマ	課題認識、仮説・検証の取組
3 資料作成	パワーポイント・映像の使い方と完成度
4 発表技術	発表態度、聞きやすさ、時間配分、興味・関心・分りやすさ
5 示唆	まとめ、将来への言及

4) 審査結果

賞	内 容	学 科
最 優 秀 賞	なぎさ公園小学校 既設枕木復旧 ～素足で走ろう花道づくり～	土木工学科
優 秀 賞	空家古民家再生 ～耐震性・用途・地域性の多角的アプローチ～	建築学科
審査員特別賞	落とし物管理システム	IT スペシャリスト学科

最優秀賞は、なぎさ公園小学校の既設枕木復旧について発表した、土木工学科が選ばれた。土木施工技術もさることながら、児童が日常的に利用する場所での安全性や利用環境への配慮を検討した点が高評価であった。優秀賞は建築学科が受賞した。また、審査員特別賞として、IT スペシャリスト学科が選ばれた。惜しくも受賞を逃した学科も趣向を凝らした専門性の高い素晴らしい発表であった。



発表者の集合写真



プレゼン大会ポスター

5) 成果と課題

各グループとも限られた時間の中で、分かりやすく魅力的なプレゼンテーションを行うために創意工夫を凝らしていた。特に、職業実践専門課程の認定校として、企業や地域と連携した実践的な課題への取り組みに関する発表が多く見られたことは、大きな成果と言える。一方、近年は会場の確保が難しくなっている点や、学外へのアピールを見据えた来場者の選定、ライブ配信の手法などは、次年度に向けて検討する必要がある。

(4) ボランティア活動

1) グリーン・パートナー事業

グリーン・パートナー事業は、「花と緑のまちづくり」を進める広島市が主催するもので、平和大通り沿いの花壇に花苗の植付けや水やりなどを実施するボランティア活動で、100m 道路の花壇の替え替えと管理を行う。

本校の担当は西区役所前の花壇で、今年も春と秋に、花壇を耕して雑草を抜き、花の植え付けと肥料を撒いた。その後、各クラスで手分けをして水やりや草抜きを行い、花壇の周辺の清掃も実施した。

近隣住民や地域への貢献として、学友会と連携して運営を行った。



春の花植え



秋の花植え

2) ボランティア駅伝前清掃

第31回全国男子駅伝「ひろしま男子駅伝」を前に、学生と教職員・約400名が参加して、駅伝コースのボランティア清掃を行った。今年も雨の心配もあったが、何とか持ち直した天気の中、学生は頑張って清掃した。集まったゴミの量は、可燃ゴミ11袋、不燃ゴミ9袋、資源ゴミ4袋の、合計24袋だった。今年のゴミも、たばこの吸い殻が最も多かったが、ペットボトルや缶も多く感じた。

ひろしま男子駅伝には、全国47都道府県から総勢329人の選手がエントリーされ、各都道府県単位でタスキをつなげていく「ふるさとリレー」は、1・4・5区を高校生が、2・6区を中学生が、3・7区を大学生・社会人が走り、各世代でタスキを繋いで激走した。



清掃風景



ゴミの仕分け作業

4-3 社会人教育への取り組み

生涯学習の観点から社会人（主には、母子寡婦、雇用能力開発機構、高等学校、専修学校及び企業等）を対象とした専門的な職業教育を展開している。

技術支援センター（過去実績）

年度		講習会名等	開催日	人数	主催者名
H26	1	（夜）広島市母子寡婦（1期）	H26. 5. 13～7. 18	20	広島市こども未来局 こども・家庭支援課
	2	（夜）広島市母子寡婦（2期）	H26. 10. 7～12. 12	10	広島市こども未来局 こども・家庭支援課
	3	平成 26 年度基礎教育講習会講師派遣	H26. 12. 2		（社）広島県専修学校各種学校連盟
	4	指導者用情報処理技術者指導講座	H26. 12. 24～12. 26 H27. 2. 19, 2. 20	3	広島市教育委員会
H27	1	（夜）広島市母子寡婦	H27. 5. 8～H27. 7. 14	9	広島市こども未来局 こども・家庭支援課
	2	平成 27 年度基礎教育講習会講師派遣	H27. 12. 7		（社）広島県専修学校各種学校連盟
H28	1	指導者用 Web サイト構築講座 →H27 年度に実施（H28 年度の収入）	H28. 2. 22, 24, 3. 2, 15, 23	4	広島市教育委員会
	2	測量数学の基礎を学ぶ研修会	H28. 7. 27, 7. 28		技術マネジメント研究所
	3	平成 28 年度基礎教育講習会講師派遣	H28. 12. 6		（社）広島県専修学校各種学校連盟
	4	（夜）広島市母子寡婦	H29. 1. 10～3. 17	9	広島市こども未来局 こども・家庭支援課
	5	指導者用 Web サイト構築講座	H29. 2. 17, 21, 22, 24, 28	2	広島市教育委員会
H29	1	平成 29 年度基礎教育講習会講師派遣	H29. 12. 5		（社）広島県専修学校各種学校連盟
	2	指導者用アプリ開発講座	H29. 12. 19, 25, H30. 2. 13, 16, 20, 21	2	広島市教育委員会
H30	1	（夜）広島市母子寡婦	H30. 10. 3～H30. 12. 12	5	広島市こども未来局 こども・家庭支援課
	2	平成 30 年度基礎教育講習会講師派遣	H30. 12. 4	60	（社）広島県専修学校各種学校連盟
	3	指導者用セキュリティマネジメント講座	H31. 2. 5	2	広島市教育委員会
R2	1	指導者用アプリ開発講座	R2. 12. 24, R3. 2. 22, 24, R3. 3. 2～3	2	広島市教育委員会
	2	指導者用 Web サイト構築講座	R3. 3. 24～25	2	広島市教育委員会
R4	1	指導者用アプリ開発講座	R5. 2. 20～22, 3. 13～16	2	広島市教育委員会
	2	指導者用 Web デザイン講座	R5. 2. 20～22, 3. 6～7	2	広島市教育委員会
R6	1	指導者用 AI プログラミング講座	R6. 12. 24～25, R7. 2. 18～19, 21	2	広島市教育委員会

4-4 国際交流の状況

昨年度に引き続き今年度もシンガポール海外交流を実施した。今年はシンガポール・ポリテクニク校 (SP 校) の行事により、7 月に本校から訪問する学生交流をおこなった。また、例年 10 月に SP 校からの日本理解ツアーは実施されず、受入れは叶わなかった。

(1) シンガポール海外研修

研修場所：国立シンガポール・ポリテクニク校
期 間：令和 7 年 7 月 23 日～8 月 1 日（合計 10 日間）
引率教員：増永 直規（土木工学科）
参加学生：8 名

(2) 主な研修スケジュール

月 日	午 前	午 後
7 月 23 日 (水)	広島駅集合、福岡空港出発	シンガポール チャンギ国際空港着
7 月 24 日 (木)	施設見学 (航空学科)、ウェルカムランチ	文化交流会、施設見学 (FABLAB 体験)
7 月 25 日 (金)	マリーナベイ周辺見学	ガーデンズバイザベイ
7 月 26 日 (土)	チャイナタウン見学	ブギス周辺見学
7 月 27 日 (日)	ホームビジット	ホームビジット
7 月 28 日 (月)	ユニバーサルスタジオ見学	ユニバーサルスタジオ見学
7 月 29 日 (火)	野鳥公園見学	野鳥公園見学
7 月 30 日 (水)	リーコンチェン自然史博物館見学	植物園見学
7 月 31 日 (木)	セントーサビーチスイミング交流	サヨナラパーティー、帰国準備 チャンギ国際空港発
8 月 1 日 (水)	福岡空港着、広島駅解散	



空港でのお出迎え



ウェルカムランチ



SP 校体験授業



SP 校施設見学



マリーナベイ散策



ホームビジット



クラウドフォレストパーク



セントーサービーチ



ユニバーサルスタジオ

(3) 参加学生数と取組み

過去5年間(令和3年度～令和7年度)

	シンガポール研修旅行 本校→シンガポール	日本理解ツアー シンガポール→本校	海外インターンシップ 本校→シンガポール	短期留学 本校→SP校	ベトナム研修旅行 本校→ベトナム
令和 3 年度	HITP 12名＋ 英語受講学生	SP 12名	オンラインによる文化交流		
令和 4 年度	30周年記念誌制作	制作に尽力いただいた卒業生 ・HITP 卒業生（現専門学校教員）門田 香 先生 ・SP 卒業生 李詩敏 LEE SZE BIM （リー・ツー・ビン）			
令和 5 年度	調印式	SP 6名 引率1名	0	0	0
	HITP 8名＋ 引率教員1名				
令和 6 年度	HITP 7名 引率教員1名	SP 15名 引率2名	0	0	0
令和 7 年度	HITP 8名 引率教員1名	0名	0	0	0

4－5. クラブ活動

(1) 軟式野球部

「広島県専門学校野球連盟」に加盟しており、春・夏・秋の各大会での優勝と全国大会出場を目標に、練習を行っている。モットーは「飽くなき挑戦」。常に目標を持ち、諦めることなく挑戦し続ける姿勢を、野球に限らず資格取得や技術・知識の習得に活かすべく活動している。

〔令和7年度の公式大会結果〕

春季大会：1回戦敗退

中国地区大会（全国大会予選）：準決勝棄権

秋季大会：出場辞退

顧問：小笠原 和教・林 哲也



(2) ドローン部

令和7年度に新しくクラブとして活動を開始しました。土木工学科と機械工学科の8名の学生で活動を行っています。シミュレータや実機を利用した操縦スキルの向上、資格試験取得にもチャレンジしています。

〔クラブ参加者の資格取得〕

無人航空従事者3級 8名

基礎技能 5名

応用技能（目視外） 5名



4-6 各種講習会

(1) 防犯講習会

例年、1年生女子学生を対象に実施していた防犯講習会については、各クラスで男子学生を対象として実施している防犯指導と内容が重複していたことから、実施方法を見直した。令和7年度は、チューターによる生き方講座内で防犯指導を実施し、全学生を対象とした防犯教育として実施した。

(2) 交通安全講習

1年生を対象に、交通安全に対する意識を高めることを目的として、交通安全講習を開催した。ロイヤルドライビングスクール広島から講師を招き、自動車や自転車の交通ルールに併せて、校舎周辺の交通規制を踏まえた安全運転の講習を行った。

1) 開催日および学科と人数

6月4日(水)	ITおよび情報学科	32名
	機械工学科	12名
	建築学科	37名
6月18日(水)	音響・映像メディア学科	30名
	電気工学科	22名
	土木工学科	12名

(3) 防災訓練

災害発生時に学生および教職員の安全を確保するとともに、避難経路や避難誘導など非常時における適切な行動を確認し、防災意識の向上を図ることを目的として防災訓練を実施した。被害想定として、南海トラフ地震が発生したことにより、4階から火災発生した避難行動とした。

学生および教職員の避難行動および避難誘導を確認することができた。

- 1) 実施日程 令和7年9月3日(水) 13:50～
- 2) 避難時間 13分

編 集：広島工業大学専門学校 教育部

発行日：2026 年 7 月 31 日

発行人：校長 佐藤 隆吉

住 所：〒733-8533 広島県広島市西区福島町 2-1-1

T E L：082-295-5111

F A X：082-293-8220

U R L：<https://www.hitp.ac.jp>